



## 学生・若者動く！ 全会派へ申し入れ行動 共産党議員団とも懇談



### 「京都市独自の給付型奨学金」「ブラックバイト対策」求める

昨年に続き「LDA京都(生きやすい京都をつくる全世代行動)」のみなさんが駅前・大学門前・繁華街で、大学の学費・奨学金・ブラックバイトの実態調査に取り組み、市議会・府議会の全会派へ「ぜひ請願の紹介議員に」と、申し入れをされました。

若いみなさんの声を受け、市も学生アルバイトの実態調査や大学での労働法セミナー等を開始。私も今議会で「学生のまち京都で独自の給付型奨学金や家賃補助を」「法令違反企業の実名公表を」と求めました。引き続き粘り強くがんばります！

## 暮らし最優先の市政へ 論戦ハイライト

### 予算特別委員会 局別質疑



- 3月2日(木) 環境政策局質疑では、トヨタとの「新燃料」共同開発に**4億2000万円もの国費を投入**しながら、リッター1500円という代物しかできなかった問題を追及しました。
- 3月3日(金) 文化市民局質疑では、**京都市美術館のネーミングライツ**問題を追及。公共の美術館に一企業・京セラの名前が付くこと一体に、「企業の情報発信」「レセプション(宴会)」など、京セラが施設を好き放題使える問題点を告発しました。
- 3月6日(月) 総合企画局質疑では、「**学生のまち・京都で市独自の給付型奨学金創設**」をあらためて提案しました。
- 3月7日(火) 行財政局質疑では、深草鈴塚町・伏見工業高校跡地や深草中ノ島町の市有地(市民が児童館建設のために寄付したもの)について、「**市民の財産は民間への売却でなく地元住民のために活用すべき**」と迫りました。
- 3月8日(水) 行財政局質疑では、京都市の「**原子力災害対策**」が不十分であることを告発しました。
- 3月9日(木) 産業観光局質疑では、引き続き「**ブラックバイト対策**」について取り上げました。

## 「共謀罪法案は白紙撤回を」 共産・民進が共同提案



### 意見書の賛成討論に立ちました

3月24日の終了本会議、共産党議員団と民進党議員団が「共謀罪法案の白紙撤回を求める意見書」を共同提案しました。自民・公明・維新・京都・無所属議員の反対で採択はなりませんが、引き続き市民のみなさんと野党の共闘で政治を動かすために全力を尽くす決意です。

議会閉会后、さっそく市民のみなさんから「京都で画期的な取り組み。他の会派は、市民・国民から糾弾されるべし」「素晴らしい決断。踏み込んだ人たちに感謝」との声をいただいています。

## 市長・副市長と一問一答形式で直接対決 市長総括質疑

### 京都市美術館へのネーミングライツは撤回を

▶副市長は「教育目的」に限定されるはずの博物館・美術館の事業について、「企業の情報発信やレセプションはダメとは(法令に)書いてない」「どう読みこんでいくかだ」と乱暴な答弁。企業のもうけのために市民の財産を差し出す姿勢が浮き彫りになりました。

### 原子力災害対策強化を

▶原発事故については「放射能は宇宙や地球の中にもある」「あまりに強調されると風評被害が起こる」「震災や河川の氾濫は現実には起こりうる(原発災害は起こらない)」など、まったく危機感のない答弁。危険を危険として認識できないことが最も危険です。



## 市民のみなさんと力合わせ前進！

### 市バス「臨南5」「南8」 重複ダイヤ解消が実現

本町通を走る市バス「臨南5」「南8」のダイヤが重なり、「2台並んで走るのはもったいない」「ダイヤをずらすだけで増便と同じになる」と市民の方から声をいただいていた。市交通局に改善を求め、3月のダイヤ改正で実現しました。



### 琵琶湖疏水「レンガ道」の 保全が実現！市が計画変更

琵琶湖疏水(鴨川運河)の遊歩道(伏見区深草森吉町・相深橋付近)に残る岸和田レンガ(近代遺産として貴重)の保全が実現しました。昨年秋に遊歩道を管理する市上下水道局が「レンガ撤去とアスファルト化」を発表しましたが、市民の反対を受け計画変更したものです。私も市民のみなさんと一緒に工事ストップとレンガの保全を求めてきました。



### 初の予算計上！ 藤城地域の 「まちづくりビジョン」策定へ

深草支所が「公共交通も視野に入れた藤城地域のビジョン」策定へ初めて予算を計上。交通不便解消を目指し、引き続き声をぶつけます。JR藤森駅のバス停では上屋設置が実現します。



### 障害者教養文化・体育会館への 「エアコン設置」が実現へ

「体温調節の難しい障がい者のみなさんが利用する施設にエアコン設置を」と議会で取り上げてきた要求が、2017年度予算に計上されました。要望が実現し、電動車椅子サッカー関係者のみなさんにも喜んでいただきました。